

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 新居浜市立角野小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒792-0841 愛媛県新居浜市中筋町2丁目7-10

E-mail smne-ad@esnet.ed.jp

Website http://sumino-e.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数 男子 339名 女子 311名 合計 650名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ふるさと学習 ）

3. 活動内容

(1) 主な活動内容

テーマ（主題）角野小学校タイムトラベル

～ふるさとに誇りをもち、そのよさを発信していける子の育成～

たんけん、発見、みんなの町 角野（3年生）

総合的な学習の時間のまち探検の学習で、瑞応寺、内宮神社・今井醤油の3つに分かれて、見学を行い、見つけてきたことやふるさととの関わりについて調べた。瑞応寺に行ったグループでは、本殿の中に入れてもらい、お坊さんから詳しい説明をしていただいた。瑞応寺はいつごろから現在の所にあるのか、歴史のこと、建物のいろいろな施設のこと、大イチョウのことなどを話していただいた。子どもたちは話を真剣に聞き、一生懸命メモを取っていた。質問もたくさんした。

その後、鐘つき堂やイチョウの様子などを見学し、教えていただいたことと比べながら考えていた。校区の身近なところにある瑞応寺について、知らなかったことがたくさん分かり、子どもたちはとても満足していた。他の所に見学に行った子どもたちも同じようにメモやお話をもとに学んだことをまとめた。それをポスターセッションの形で発表した。



角野タイムトラベル（4年生）

別子銅山記念館とえんとつ山へ出かけた。別子銅山記念館では、館長さんから銅山の歴史について詳しくお話をいただいた。えんとつ山では、山から見える工都新居浜の様子を見たり、えんとつ山の歴史に思いを馳せたりすることができた。また、学んだことをもとに、別子銅山について学習をさらに広げ、深めることができた。

昨年度に続いて、校区の「別子銅山せつとう節保存会」の方々に、せつとう節を見せていただいたり、別子音頭を一緒に踊ったりする交流体験学習を行った。子どもには、難しい言葉のフレーズもあったが、昔、別子銅山で働いていた人の様子が、実にうまく再現されており、子どもたちも興味をもって観ていた。その後の別子音頭では、保存会の皆様のご指導で共に踊って交流を深めることができた。体験した子どもたちの中で一人でも、この地域のすばらしい伝統芸能を引き継いでくれる子どもが出てくれることを、保存会の方々も願っていた。

別子銅山や銅山と歴史的につながりの深い「ふるさと角野」について学んできたことを、新居浜別子ライオンズクラブの方や地域の方をお招きして発

表会を実施した。子どもたちの学習の取組に対してライオンズクラブから「子ども観光大使認定証」を全員にいただいた。



南高校生との校区探検（6年生）

角野公民館のお世話で、本校6年生と愛媛県立南高等学校の学生による校区内に残る近代化産業遺産をめぐる交流授業を行った。南高生は、ユネスコ部が中心となって、コースの資料配布や現地での説明を担ってくれた。また、公民館の見守り隊の方々もサポート役として参加してくれた。クラス別に4つのグループに分かれ、山根収銅所、山根精錬所、別子銅山記念館等を巡った。それぞれのポイントでは、ユネスコ部の皆さんから詳しい説明があった。4年生の時、ふるさと学習で訪れたことはある場所だったが、南高の先輩の説明は、児童に分かりやすく好評である。新たに発見できたことも多かったようである。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）